



元素記号 缶バッジ

1回 ¥100 (2個入り)

~第3弾~



<p>ロシアの研究所で、ロシアとアメリカの共同研究チームが合成させた元素です。</p>	<p>マーシャル諸島で行った水爆実験の灰から、フェルミニウムとともに発見された放射性元素です。</p>	<p>ガラスの原料やスライムの材料としてよく使われます。</p>	<p>歯・骨・血液の成分です。地殻に多く含まれ石こうやチョークの原料として使われます。</p>	<p>歯・骨・血液の成分です。赤リンは、マッチ箱の発火剤に使われます。</p>
<p>合金鋼の材料として優れた性質をもち、バネ・電気ドリルの刃・ドライバーなどに使われます。</p>	<p>写真用フィルムとして使われることから、アイドルの写真を「プロマイド写真」と呼ぶようになりました。</p>	<p>元素が知られるよりもはるか昔から、ガラスや陶磁器の着色剤として使われていました。</p>	<p>錆どめ、ニッカド電池の負極、スプリンクラーを動かす感温材料に使われます。</p>	<p>ラテン語で「大地(地球)」を意味するテルスに由来。DVDなど光ディスクの記録層に使われます。</p>
<p>人間が古くから利用してきた金属のひとつ。精錬がしやすく、昔は大量の鉛製品がつくられました。</p>	<p>スウェーデン語で「重い石」を意味する、重くて頑丈な金属。白熱電球やボールペンに使われます。</p>	<p>スペイン語で「小さな銀」を意味する銀白色の金属。強い耐食性で、装飾品や車の耐熱部分に使われます。</p>	<p>キュリー夫人の助手が、祖国フランスの名をとり命名しました。自然界で発見された最後の放射性元素です。</p>	<p>ビスマスにクロムイオンを衝突させ合成しました。化学的・物理的な性質はわかっていません。</p>
<p>鉛に鉄イオンを衝突させて合成した放射性元素です。</p>	<p>ビスマスとニッケルを合成。物理学者レントゲンに由来した名前ですが、この元素はレントゲン写真に使われていません。</p>	<p>地動説を唱えた天文学者コペルニクスに由来。惑星系の考え方が原子の構造に応用されました。</p>	<p>カリホルニウムとカルシウムを合成。元素の研究に貢献した物理学者ユーリイ・オガネシアンから命名されました。</p>	<p>レアアースのひとつ。光学レンズや、水素自動車・燃料電池自動車の燃料タンクに使われます。</p>
<p>磁力の向き・大きさにより磁性体が伸び縮みます。インクジェットプリンタの印字ヘッドに使われます。</p>	<p>外科手術のレーザーメスに使われます。発熱が少なく、患部を傷つけにくいという特徴があります。</p>	<p>北欧神話の雷神・トールから命名。放射能をもつので、現在はあまり製品の材料として使われません。</p>	<p>強い放射能を持つ銀白色の金属。カリフォルニア大学バークレー校の研究チームがつくりだしました。</p>	<p>カリフォルニア大学バークレー校の研究チームが、キュリウムにヘリウムイオンを照射させ確認した元素です。</p>